

令和元年12月2日(月)発行

道建協とうほく

No.67

発行 一般社団法人 日本道路建設業協会
東北支部 広報委員会



【道の駅 五城目 (秋田県南秋田郡五城目町)】

目次

I. 行事報告	-----	1
II. 対外活動	-----	9
III. 幹事会・委員会活動	-----	10
IV. アスファルト混合物事前審査	-----	11
随想	-----	12
会員だより	-----	13
編集後記	-----	15

I. 行事報告 (R1/8/1～)

1. 建設キャリアアップシステム講習会

日 時：令和元年8月29日（木）

場 所：宮城県建設産業会館

参加者：19社 55名

「建設キャリアアップシステム」は技能者の資格、社会保険加入状況、現場の就業履歴等を業界横断的に登録・蓄積するものであり、このシステムの活用により技能者が能力や経験に応じた処遇を受けられる環境を整備し、将来にわたって建設業の担い手を確保することを目的に官民で検討を進めて、今年度4月から本格運用を開始したものです。



道建協では、「技能者の処遇改善」、「現場管理の効率化」が図れることから、このシステムの導入について、会員各社に対して推進していくこととしております。

その一環として、このシステムを運用管理する（一財）建設業振興基金から講師を招き会員各社のための講習会を開催したものです。

2. 令和元年度 総合防災訓練

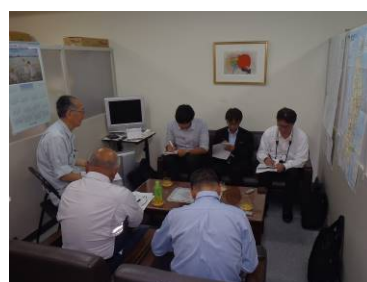
防災委員会は、平成30年8月30日（金）に防災訓練を実施しました。

例年、東北地方整備局との合同での開催でしたが、今回は東北地方整備局が災害対応で開催を延期したので単独での実施となりました。

今回の訓練はH23.3.11 東日本大震災に学び、類似災害に資する訓練とし、次の5項目を重点的に実施しました。

- ①情報伝達訓練（東北地方整備局、道建協本部及び全国10支部と情報伝達）
- ②リエゾン派遣訓練（東北地方整備局、東北6県の河川国道事務所へ派遣）
- ③緊急支援物資・機材調達訓練（仮設トイレを全国支部より調達）
- ④道路啓開チーム出動訓練【手順確認】（被災現場に、最寄りの工事現場又はAsプラントから啓開チームが出動（会員企業6社））
- ⑤復旧資機材情報提供訓練（As合材等供給可能資材の情報を、東北地方整備局、東北6県の河川国道事務所に持参）

訓練に御協力頂きました会員各位並びに河川国道事務所に足を運んで頂いたリエゾンの皆様ありがとうございました。



3. 「道路功労者表彰（日本道路協会）」表彰伝達式

日 時：令和元年9月2日（月）

場 所：ホテル法華クラブ仙台

公益社団法人 日本道路協会は事業の一環として、毎年8月10日「道の日」に、わが国の道路整備事業の発展にご尽力された個人、及び団体を表彰してきました。道建協関係の受賞者は「道路建設業関係会社の従業員として、多年（概ね二十年以上）にわたり業務に精励し、施工の改善・合理化、作業効率等の推進に尽力し、他の模範となる者（個人）」という事由が表彰対象となっており、道建協本部からの推薦により、主催の日本道路協会が表彰者を決定しております。受賞者への表彰は、各推薦団体が代行することになっており、東北支部においては田支部長、齋藤幹事長が参席し、受賞者6名に表彰状の伝達を行ないました。

■ 受賞者（6名・順不同・敬称略）

佐藤	英樹	日建工業(株)
小松	光良	東亜道路工業(株)
小松	米男	世紀東急工業(株)
小田桐	明秀	福田道路(株)
高橋	修	鹿島道路(株)
阿部	毅	前田道路(株)



4. 舗装施工管理技術者 技術講習会

日 時：①令和元年9月10日（火）

②令和元年9月25日（水）

場 所：①仙台国際センター

②いわて県民情報交流センター「アイーナ」

今年度も、仙台と盛岡の2会場で開催しました。

仙台会場で131名、盛岡会場で92名、合計223名の方々が受講しました。

<講習科目・講師>（敬称略）

①舗装事業をめぐる社会・経済情勢と各種制度
東北地方整備局 道路部 道路情報管理官
金ヶ瀬 光正

②舗装工事の安全対策

道建協本部 環境・安全委員会 安全部会 委員
〃 〃 〃 委員

堂尻 伸二（仙台）

小笹 一彦（盛岡）



（仙台会場）



（盛岡会場）

③建設副産物対策

道建協本部 環境・安全委員会 環境部会 委員 堂尻 伸二 (仙台)
〃 〃 委員 小笹 一彦 (盛岡)

④最近の舗装技術の動向

道建協本部 技術委員会 委員 坂東 芳博 (仙台)
〃 〃 委員 吉武 美智男 (盛岡)

5. 安全環境パトロール

安全環境委員会による令和元年度安全環境パトロールを9月2日～11月6日にかけて会員会社12社の工事現場で実施しました。

(①=実施月日、 ②=点検員、 ③=対象工事・施工場所・施工会社)

- (秋田班) ①令和元年9月2日(月)
②有路委員長、細川委員、下屋敷委員
③秋田管内舗装修繕工事 大仙市 戸田道路(株)



- (岩手班) ①令和元年9月10日(火)
②西山幹事、高橋(隆)委員、高橋(克)委員
③磯鶏地区舗装工事 宮古市 鹿島道路(株)



- (岩手班) ①令和元年9月11日(水)
②佐藤幹事、高橋(隆)委員、高橋(克)委員
③国道106号新区界トンネル舗装工事 宮古市 大成ロテック(株)



- (岩手班) ①令和元年9月19日(木)
 ②仲村幹事、小畑委員、渡邊委員
 ③山口地区舗装工事 宮古市



東亜道路工業(株)



- (岩手班) ①令和元年9月19日(木)
 ②小畑委員、渡邊委員
 ③国道45号宮古地区舗装工事



宮古市 日本道路(株)



- (宮城班) ①令和元年9月20日(金)
 ②北原委員、石頭委員
 ③気仙沼管内舗装修繕外工事
 ③松崎中瀬地区舗装工事

石巻市 (株)佐藤渡辺
 気仙沼市 (株)ガイアート



(岩手班)

①令和元年10月17日(木)

②藤原委員、酒井委員

③鳥谷地区舗装工事

久慈市

フジタ道路(株)



(宮城班)

①令和元年10月23日(水)

②田中副委員長、石頭委員、酒井委員

③古川旭地区道路舗装工事

大崎市

福田道路(株)



(宮城班)

①令和元年10月23日(水)

②梅野幹事、細川委員、下屋敷委員

③京原地区舗装工事

仙台市

常盤工業(株)



(福島班)

①令和元年10月24日(木)

②国塚委員、柘植委員

③山岸地区改良舗装工事

相馬市

前田道路(株)



- (岩手班) ①令和元年11月6日(水)
 ②下菊幹事、藤原委員、酒井委員
 ③夏井北地区舗装工事 久慈市 世紀東急工業(株)



対象工事の現場代理人や現場の皆様大変お世話になりました。
 安全確保に務められ無事故・無災害で完工できるようお願いいたします。
 幹事の皆様には、業務多忙のところ現場に立会われ、貴重な助言を頂き誠にありがとうございました。

6. 東北地方工事安全施工推進大会(SAFETY2019)

日 時：令和元年10月2日(水)
 場 所：日立システムズホール仙台(旧：仙台市青年文化センター)
 主 催：東北地方整備局、東北六県、仙台市、NEXCO、道建協ほか16建設業関連団体
 参加者：約500名(内、道建協会関係17社30名)

次 第

- 1) 黙とう
- 2) 主催者並びに来賓挨拶
- 3) 表 彰(敬称略)

○現場代理人表彰 64名

【道建協会関係 1名】

『中野ふ頭用地舗装外工事』

後藤 陽二 日建工業(株)

○優秀論文表彰 25名

【道建協会関係 6名】

『行ってらっしゃい』

齋藤 里美 (株)佐藤渡辺

『女性パトロールを通して感じたこと』

佐久間 由美 (株)ガイアート

『挨拶からはじめる安全意識』

片岡 洋輝 (株)NIPPPO

『もう少しが命取り』

高橋 楽惟 世紀東急工業(株)

『安全を願う活動』

佐藤 千寿 (株)ガイアート

『私が目指す安全とは』

近藤 裕一 (株)NIPPPO

(道建協会関係応募数 215編、優秀賞 6編、佳作 11編)

- 4) 工事事務防止対策の取り組み紹介

「長大トンネルにおける安全対策」 (株)佐藤渡辺 平井安全環境部長

- 5) 決意表明

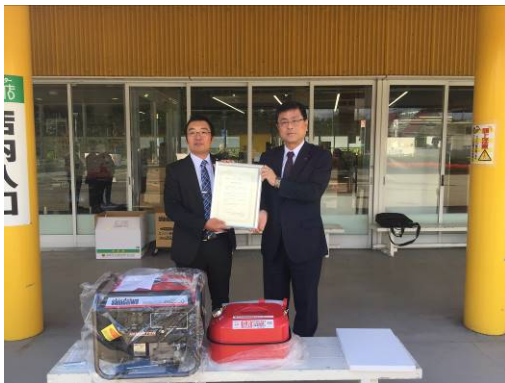


7. 『道の駅』へ「発動発電機」を寄贈

社会貢献活動の一環として、平成20年度から東北六県の「道の駅」へAEDの寄贈を行ってまいりましたが、配備状況が充実していることからAEDの寄贈は平成28年度をもって終了しました。

平成27年度から、大規模災害時に防災拠点として対応する「道の駅」に発動発電機を寄贈しておりますが、昨今の多発する異常気象による集中豪雨、台風、地震に非常に有効であることを考慮し、発動発電機に限定して寄贈することとしております。今年度は、田支部長、仲村広報委員長、広報委員らが6駅を訪れ発動発電機を寄贈しました。

- ・ 11月 7日 道の駅 「こさか七滝」 (秋田県鹿角郡小坂町)
- ・ 11月 8日 道の駅 「五城目」 (秋田県南秋田郡五城目町)
- 〃 道の駅 「おおがた」 (秋田県南秋田郡大潟村)
- ・ 11月25日 道の駅 「みさわ」 (青森県三沢市)
- ・ 11月26日 道の駅 「なみおか」 (青森県青森市)
- 〃 道の駅 「いまべつ」 (青森県東津軽郡今別町)



【おおがた】



【おおがた】



【こさか七滝】



【こさか七滝】



【なみおか】
(陸奥新報社提供)



【なみおか】



【五城目】



【五城目】



【いまべつ】



【いまべつ】



【みさわ】



【みさわ】

Ⅱ. 対外活動

(R1/8/1～)

1. 東北地方整備局関係

【i-Construction 技術講習会（秋田地区）】

開催日：令和元年9月6日（金）

場 所：秋田県五城目町地域活性化支援センター

出席者：本部 松田広報・技術部長、加藤舗装企画課長

【人材育成協議会 第2回基礎技術講習会】

開催日：令和元年9月10日（火）

場 所：東北技術事務所

講 師：アスファルト舗装：三井住建道路㈱

【i-Construction 技術講習会】

開催日：令和元年9月27日（金）

場 所：東北技術事務所

出席者：本部 松田広報・技術部長、加藤舗装企画課長、事務局3名

【EE東北20 第1回実行委員会】

開催日：令和元年11月5日（火）

場 所：KTPガーデンシティ勾当台

出席者：田支部長、齋藤幹事長

議 事：①EE東北19決算・監査報告

②EE東北20組織（案）

③EE東北20実施方針（案）

④EE東北20予算（案）

【人材育成協議会 第3回基礎技術講習会】

開催日：令和元年11月26日（火）

場 所：東北技術事務所

講 師：アスファルト舗装：鹿島道路㈱

2. 東日本高速道路㈱東北支社関係

【女性技術者による現場見学交流会及び意見交換会（第2回）】

開催日：令和元年11月11日（月）

場 所：「常磐自動車道4車線化工事」現場内

出席者：70名（道建協会員10名）



Ⅲ. 幹事会・委員会活動 (R1/8/1～)

1. 幹事会

【第3回】

開催日：令和元年9月18日（水）

出席者：田支部長、齋藤幹事長、幹事11名

（安孫子、有路、梅野、大泉、小野代、佐々木代、佐藤、下菊代、仲村、田中、西山）

- 議 事：①活動の概況について（7/17～）
②安全環境パトロールについて
③SAFETY2019について
④i-CON 講習会について
⑤官民合同安全パトロールについて
⑥女性技術者の現場見学会について

【第4回】

開催日：令和元年11月20日（水）

出席者：田支部長、齋藤幹事長、幹事11名

（安孫子、有路、梅野、大泉、小野代、佐々木、佐藤、下菊、仲村、田中、西山代）

- 議 事：①活動の概況について（9/18～）
②台風19号による被害の対応について
③道の駅への発動発電機寄贈について
④コンプライアンス講習会について
⑤EE東北20について
⑥女性職員状況調査について
⑦社会貢献活動（清掃活動等）について

2. 広報委員会

【第2回WG】

開催日：令和元年10月23日（水）

出席者：北島委員、佐藤委員、伊藤委員、竹林委員

- 議 事：①発動発電機寄贈について
②広報誌「道建協とうほく」の発行について

【第2回】

開催日：令和元年10月30日（水）

出席者：仲村委員長、西山副委員長、本間委員、佐藤委員、兵藤委員、伊藤委員、坂井委員、竹林委員

- 議 事：①発動発電機寄贈について
②広報誌「道建協とうほく」の発行について

3. 安全環境委員会

【第3回】

開催日：令和元年9月18日（水）

出席者：有路委員長、田中副委員長、委員12名

（藤原、下屋敷、柘植、高橋（克）、石頭、細川、高橋（隆）、国塚、小畑、酒井、渡邊、北原）

議 事：①安全環境パトロール実施について

②SAFETY2019安全論文審査結果について

③安全環境講習会アンケート結果について

④安全祈願について

【第4回】

開催日：令和元年11月20日（水）

出席者：有路委員長、田中副委員長、委員10名

（藤原、柘植、高橋（克）、石頭、細川、高橋（隆）、国塚、酒井、渡邊、北原）

議 事：①安全環境パトロールの実施結果について

②安全祈願について

IV. アスファルト混合物事前審査 (R1/8/1～)

アスファルト混合物事前審査制度における審査機関として、東北地方整備局から平成23年4月1日に指定され、指定期間は平成33年3月31日までです。

【第91回 アスファルト混合物事前審査委員会】

開催日：令和元年9月12日（木）

場 所：ハーネル仙台

立会審査：23混合所

立入調査：20混合所

【第92回 立会審査・第90回 立入調査】

期 間：自 令和元年10月16日（水）

至 令和元年11月7日（木）

立会審査：31混合所

立入調査：26混合所

随 想

『天災は忘れた頃にやってくる』？

技 術 委 員 長
（株）ガイアート 東北支店
支店長 佐藤 雅昭



皆さん、お疲れ様です。

私たちの住んでいる日本は、複数のプレート上にある地震大国です。そのため活火山が多くあり、世界の活火山の7%は日本にあります。また、四方を海に囲まれており台風の通り道でもある事から、今までも数多くの自然災害が発生しています。近年では、地球温暖化の影響であろう今まで経験したことのない異常気象が毎年、日本各地で頻繁に発生していることから災害大国でもあります。

自然災害の一つである地震においては、8年8ヶ月前の3月11日に東日本大震災が発生。今年の2月21日には、北海道胆振地方で震度7の地震が発生し、北海道全域で停電（ブラックアウト）が発生しました。

地震以外にも、8月26～28日に佐賀県を中心とした九州北部で集中豪雨による災害。9月5～9日に台風15号が千葉県に上陸し関東地方で暴風雨での災害。続けて10月11～12日には台風19号が静岡県に上陸し、千葉県をはじめとした関東地区、長野県、東日本各地にと広範囲に河川が氾濫し甚大な被害が発生しました。

異常気象と思わせる事象として、観測史上最高を記録することが近年多くなっています。一例を挙げますと昨年7月に埼玉県にて最高気温を記録。今年の台風15号では瞬間最大風速、最大規模の台風19号では各地で24時間最高降雨量を更新しました。

気象庁での特別警報では、『50年に一度の大雨』や、『直ちに命を守る行動を』というような言葉が頻繁に耳に入ってくるようになりました。

このように自然災害が多く発生する日本に暮らしている私たちですので、会員各社におかれましては東日本大震災以降、災害対策・備えは行っているでしょうが、十分ではありません。

『天災は忘れた頃にやってくる』とのことわざがありますが、上記で述べたように、昨今、地下から地震が、天からは強い日差しと暴風雨が、地上では河川の氾濫・土砂崩れと、自然災害が次から次へと発生し、近年はこのことわざが当てはまらないようになってきています。

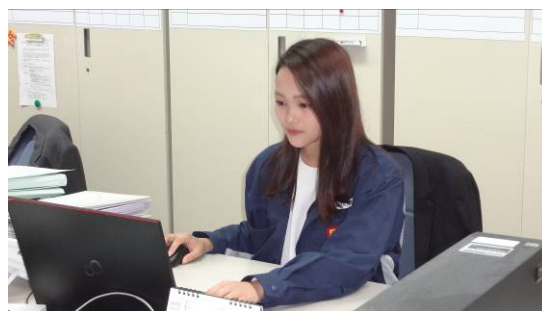
『備えあれば憂いなし』、このことわざを活かし頻繁に起こる異常気象への対策を、皆さんの家庭内でも事前に話し合い、そして備えましょう。

最後に、建設業に携わる私たちは自然災害の未然防止、発生後の復旧・復興の一翼を担っています。社会に必要とされることに使命感を持って行こうではありませんか。

会員だより

「建設業への私の思い」

鹿島道路(株) 東北支店
営業部 吉田 萌夏



私が鹿島道路に入社し、約1年半が経ちました。今回この文章を書かせて頂くにあたり何について書こうかと考えた際に、ふと就職活動・入社時のことを思い出しました。

私は学生の頃、英語コミュニケーションを専攻しており、土木業界は全くと言っていいほど触れる機会がありませんでした。そして、将来は空港関連やアパレルの仕事に就くか、人と関わることが好きなので直接お客様とコミュニケーションが取れる営業の仕事をしてみたいとぼんやり考えていました。

そんな私がこの業界に興味を持ったきっかけは、就職活動を通して自分のやりたいことを考えた際、「自分の造ったもので世の中を便利にしたい」と思ったことでした。道路会社の営業はモノを売る営業とは違い、お客様と何度も打ち合わせを重ね、実際にモノを造っていきます。そのため、人との関わりがより濃いものになるのではないかと思います。実際にモノづくりの現場に関わり、何もなかったところに道が出来たり、建物やテーマパークの外構を造ったり、新しいものを生み出していくので、完成した際の達成感がとても大きい仕事だと感じています。自分が携わり造り上げたモノが誰かの生活を豊かにし、この先何年も使われ続けると思うと、とてもやりがいのある仕事だと思います。お客様に「鹿島道路にお願いしたい」「吉田さんにお願いしたい」と言ってもらえるよう、今後も精進してまいります。そして、『新しい価値創造に挑戦し、人と地球の豊かで快適な環境づくりに貢献する』という弊社の企業理念に恥じぬよう、日々の営業活動を行っていきたいと思います。

皆様も普段は淡々と業務をこなしていくあまり、初心を忘れがちなのではないかと思います。ふとした時に初心を思い返してみると、やる気やモチベーションの向上に繋がるのではないのでしょうか。まだまだ女性の少ない業界ではありますが、入社時の思いや希望を胸に、男性社員にも負けないよう邁進していきたいと思います。

会員だより

「日本さかな検定（とと検）」

前田道路(株) 東北支店
相澤義光



漢検、英検、野菜やお酒の検定、宮城検定などのご当地検定など検定流行りですが、私は日本さかな検定（通称：とと検）1級を持っています。

この検定は、日本全国の魚好きが集まる検定で今年で第10回を迎えました。出題は魚や魚食にまつわる文化についてで、産地や旬の時期、食べ方や郷土料理、さかなにまつわる歴史・文学、ことわざと多彩です。

5、6年前のこと、セカンドキャリアを考える歳となり何か資格試験を受けようかと思いつき、技術士と品確技術者を受験。技術士一次はなんとかなったものの、翌年の二次試験当日、釣りに行ってしまおうという”へたれ逃避行動”。我ながら情けないなと凹んだのですが、すぐ立ち直り、なら合格できそうやつをとネットで探しているなかで「とと検」を出会った訳です。

大津波で甚大な被害を受けた宮城県東松島市の「浜」生まれ。親父は船乗り。釣りと魚料理が大好きな私にぴったりの検定だ！とキャリアアップの目的は完全に無視し、勉強し始めたのです。

最初の年は1級受験の条件となる2級からスタート。東北の試験地は八戸と石巻。石巻で受験し合格。翌年に1級試験。4択ですが1時間100問は結構きつい。しかも難問奇問多数であえなく不合格。試験は6月末に年1回。もう少し勉強すれば2回目はなんとかなると甘く考えていたら78点。2点足らず撃沈。意地と根性が必要だなと受けた3回目。また78点。準1級を新設したからね！と合格証が郵送されてきたが破りました。こんな問題が出ます。

(1) 新元号「令和」の出典元『万葉集』で一番多く詠まれている魚は『日本書紀』では神功皇后が戦の勝敗を占った魚として記されています。大伴家持の歌に詠まれている魚を選びなさい。①鮎 ②鯉 ③鰯 ④鯔

(2) コイこく、洗いがおいしいコイの旬は寒い季節で「寒鯉」は冬の季語として用いられます。漢字のつくりの「里」が意味するものを選びなさい。

①エサ②ウロコ③棲息地④寿命

そして、1級を3浪し4回目となった今年なんと82点で合格でした。全国の1級受験者は388名うち合格者は30名。これで少しは自慢できるかな？とと検のことを人に話すと「で？なにか特典あるの？」と聞かれます。何もないです。津軽・庄内・茨城久慈と真鯛遠征してますが合格して特に釣れるようになったことはありません。ボケ防止の効果はあったと感じ来年受験しなくていい安堵感があります。でも・・・技術士参考書が本棚でこちを睨んでます。やれやれ。

→答え(1)鮎(2)ウロコ:コイのウロコは約36枚。
1里が36町だから「鯉」



編集後記

道建協とうほく No.67 担当

兵藤 光広（東亜道路工業(株)東北支社）

伊藤 忠良（常盤工業（株）東北支店）

「道建協とうほくNO67」の発刊に際し大変お忙しい中、ご寄稿いただきましてたいへんありがとうございました。

令和元年、残すところあとわずかとなりました。

そこで今年を振り返って記憶に残る出来事をいくつか思い起こしてみました。

- まず、何と言っても5月の新元号「令和」の年号とともに、新しい陛下が即位されたことでしょう。災害続き、少子高齢化、格差の拡大と不穏の時代だった平成から、令和の「和」のように希望に満ちた、平和と繁栄の時代となるよう願っています。
- ラグビーワールドカップ開催され、日本が初の8強入りする歴史的快挙を達成し、日本中を熱狂させました。大会前はラグビーへの関心が薄かったが、日本の活躍で「にわかファン」が増え、熱気は日を追うごとに高くなり、同時に開催されていたプロ野球日本シリーズはまったくかすんでしまいました。（野球好きな方にとっては今年ほど盛り上らない日本シリーズはなかったのではないのでしょうか）
又、これも記憶に残った事で、数々の記録を残した金田正一さんが亡くなったことです。思い出します国鉄時代、スーパールーキー長嶋茂雄のデビュー戦で対戦し、ほとんどカーブで4打席4三振。歴代の投手の中で、最高の投手ではなかったかと思います。

- 野球といえば、我が「東北楽天イーグルス」、「見せましょう東北の底力を」と呼びかけ、ファンの心を打たせた嶋選手が退団することになりました。自分の必要とされている球団でやりたいそうで、球団の顔だっただけに残念です。球団の方針に？新天地で活躍することを期待しています。



- 今年は6～7月の豪雨、台風15号を含む8～9月の大雨、そして10月の台風19号と自然災害の多い年でした。特に台風19号は東北でも甚大な被害もたらしました。河川の氾濫、堤防の決壊が相次ぎ、まだまだ復興は先の様です。「経験のしたことのない」、「命を守る・・・」という言葉年々使われました。これも地球温暖化の影響でしょうか。これからますますインフラ整備、防災意識を高めていくことが必要となります。

さて、来年は東京オリンピック・パラリンピックの年です。楽しみですね。取り留めのない話しとなりました、今後とも「道建協とうほく」のご愛読、ご寄稿宜しく願います。